

CHRISTMAS

CONCERT

DEC, 22 1956 SEINAN RANKIN CHAPEL

クリスマス コンサート

西南女学院短期大学合唱団
西南学院大学グリークラブ

西南シャントワール

指揮 今西善次郎
内海敬三

ことば

一九五六年十二月二十二日

西南学院院長 河野貞幹

クリスマスのよろこびの鐘なりひびくとき、
「天には神に栄光あれ
地には人々に平和あれ」
と讃美は全宇宙をおおい包んで、かいば桶のみどり児の御降誕
を祝う。
マリヤもヨセフも、羊飼も博士たちも、天使も、おびただしい
天の軍勢も、聖なる天父の無限の愛にいたがれて、この目いま
だ見ず、耳いまだ聞かざる救主の御降誕の大事實を仰いでハレ
ルヤをさけぶ。
「今日汝らのために救主生れ給えり
これ主キリストなり。」
このよろこび、この讃美、ハレルヤの歌声。二千年前のよろこ
びは歴史を超えて新鮮そのまま、今日、ここでハレルヤの歌声
もろ共に湧きあふれる。
救主に栄光あれ
地に住む人に平和あれ
クリスマスのよろこびの鐘はなりひびく。

西南学院

後援 ラジオ九州

西南学院シャントワールに寄す

堀 内 敬 三

合唱は誰にでもやれる高級な音楽です。日本で近来いちぢるしく合唱が普及したのはまことに喜ばしく思います。それを心からたのしむためにはもつと多くの高級な合唱団体が生れて、できるだけ多くの機会に、多くの人々に合唱音楽の真の美をつたえなくてはなりません。

ただ集つて歌うだけでも楽しいことです。しかし芸術的な高度の内容を持つ曲を、良く演奏すれば、それを歌う人も聞く人も、より深い満足を感じるでしょう。

西南シャントワールは、生活的な、身近かな合唱音楽をたのしむと共に、高度の芸術作品もよく歌いこなす立派な団体です。御地の皆さんのがこの団体を愛して、よい合唱音楽を皆が心から味わいたのしむように、切に期待いたします。

(音楽評論家)

クリスマス音楽会について

W.M ギヤロット

今年の春、小倉の西南女学院の吉井正敏院長とC・L・ホエーレー宗教主任が福岡へ来られ、両学院の合同音楽会を提案して下さいました。

その後同学院の今西善次郎先生とも打ち合わせ、練習等の為に度々来られた。その成果として去る十四日に西南大のグリー・クラブが小倉へ参り、女学院の合唱団と二回のクリスマス音楽会を催して、好評を得ています。

尙、福岡では西南学院の同窓生でできている西南シャントワールの方で前から独立音楽会の予定がありました。両学院の計画を聞いて快くそれに合流して、RKBの後援を得て準備の中心的な労を取つて下さいました。

世界の諸宗教の中でキリスト教がながく「歌う宗教」として知られています。ですからキリスト教主義に立っている両学院において音楽的な活動が益々発展していくことは当然であり、嬉しいことあります。特に、キリストの御誕誕を祝うクリスマスの意義を思つて、クリスチヤンの心からほどばしる喜びが数々の名曲を産んだので、今回西南学院の同窓生と両西南の在学生が声を合わせてクリスマス・コンサートを西南学院の主催で提供することは大いに喜びとするところであります。

聴衆の皆様の応援を感謝して、「平和の君」、「世の光」、「世の罪を取り除く神の小羊」であるキリストよりの祝福が一人一人の上にありますように祈ります。

(西南学院宗教部長)

あ い さ つ

乙 藤 成 美

聞く所によると米国にはアマチュアの合唱団体が大なり小なり無数にあつて、その歴史が古い事によると思いますがメンバーの年令層が非常に幅広いと云う事であります。

私達シャントワールは歴史こそありませんが皆んな頭の白くなる迄歌うと云う念願をもつて活動して居ります。

何しろ社会に出た者、それにいくらかの現役を加へてのメンバーですから、勤めとか何んとかで練習も思うようにはかどらずこれまでするのがやつとでした。しかしこれを第一歩として来年からもつと充実した演奏会を持ちたいと意氣込んで居ります。今夕は多数御参会下さいました事を深く感謝致します。

又、わざわざ小倉より御出で戴きました今西先生始め西南女学院短期大学合唱団の方々、西南学院大学グリー・クラブの方々及び何くれとなく御援助下さいました学院関係者の方々に重ねて御礼を申し上げます。

(西南シャントワールマネジャー)

曲目及び解説

ひさしくまうに (94)

なんと美しい曲でしょう。中世以来うたいつがれた古い待降節の歌で、バビロンの虜囚の悲しみの中からメシヤの来臨を待望するこの歌の精神は人々の心を捉えずにはおきません。長調とか、ホ短調とか云う「調性」が出来る以前に用いられた音組織の一つで（「ドリウス施法」といはれる音階）今日の「ニ短調」に似て居ます。

まきびとひつじを (103)

イギリスの有名なキャルロのひとつです。この曲の原旋律は、イングランドの西都地方に、おそらく十七世纪以前から伝わっている旋律であつて、今日でもこの旋律と同じものが、そのまま同地方に伝わっているそうです。

非常に静かな曲でありながらもその底には待ち望んだキリスト誕生の喜びがしみじみと感ぜられます。

あら野のはてに (106)

近世フランスの美しいキャロルです。この歌の詞と曲とは十八世纪以後のものであるとのことです。キャロルはもともとダンスを伴なう喜びの歌であったのが、聖劇に採り入れられて宗教化され、一種の宗教的民謡としてクリスマスやイースターに教会外の広場や家庭で歌われるようになつたものです。この曲もそれがダンスを伴なつて歌はれたのでしよう、軽快なりズムを持っています。おりかえして歌う「グローリア・イン・エクチエルシス・デオ」とはラテン語で「いと高き所には榮光神にあれ」との意味です。

もろびとこぞりて (112)

讃美歌の百九番の「きよしこのよる」と同じく我が国でも広く知られ親しまれている曲です。ヘンデルのThe Mesiah 第二部の合唱曲 "Lift up Your Heads" や第一部のテナーのレシタティーヴ "Comfort Ye My Peuople" の第四小節が旋律、リズムとともに

似ているのでヘンデルの編曲だといはれます、確かではありません。

きよしこのよる (109)

作曲者フランツ・グルーバーは177年麻織業者の息子として生れたオーストリア人で、小学校の教師をしながら、教会のオルガニストをしていました。その教会の助祭ヨーゼフ・モールは十二月二十五日の早朝この詩を書き上げ、グルーバーにとどけた。間もなく彼は教会を訪ね、オルガンが故障したので、壁のギターをとり、弾きながらこの歌を歌つて聞かせ、次に三度の和声をつけ、二人で二重唱しました。それはクリスマス礼拝のはじまる30分前のことです。グルーバーが旋律をうたつて、聖歌隊がそれを繰り返しました。これが、この曲の最初の演奏でした。

羊はねむれり (119)

この歌は新らしく讃美歌に加えられた三輪源造(1871—1946)の作詩、鳥居忠五郎(1897—)作曲によるもので邦人讃美歌中の傑作のひとつといえましょう。フランスの古いキャルロに似たナイーヴな美しさの中にも個性のある曲です。

かみのみこは今宵しも (111)

この歌は十八世纪の初めごろからカトリック教徒の間に広く歌っていたもので、封建的な大家族主義の時代に、貴族や大地主は、自分の邸内に私設の礼拝堂を持つていて、そこで歌はれていた聖歌は聖職者が一枚一枚手で淨写したものでした。この Adeste Fideles もその一つです。少くとも125の国語に訳され、英訳だけでも40種あるという、「きよしこの夜」と共にクリスマスの歌の双璧です。

コンクール課題曲

山の朝
秋の日ぐれ
野はうるはし
家路

毎年秋に催されるコンクールで歌つて来た課題曲です

これらの歌は我々学生時代の苦しかつた思いで、樂しかつた思いでを呼び起してくれます。

First Mass In G by Albert H. Rosewig
opus. 100

ガトリック形式の曲であつて、古来重要なカトリックの礼拝の時に用いられ、古今の作曲家が宗教的な形式の音楽を作曲しこれを教会で用いたものです。
これがミサと云う形式となつて教会礼拝の音楽に入れられる様になりました。
この曲は作者が明らかでなく、おそらく米国に居て自分の教会に用いる為に作曲したものと思われます。

黒人のクリスマス・ソング

黒人靈歌の中から特にクリスマスに関係あるものだけを集めました。黒人達のくり返しきり返し唱える素朴な祈りの言葉は我々の心にも共感を呼び起さずにはおきません。

Sweet Little Jesus Boy

この歌は己の罪の深さを知り、自分の心をじつとみつめながら神に許しを乞う瞑想的静かな歌です。

O Peter Go Ring Them Bells

救主が生れ給うた。

ピーターよ、喜びの鐘を鳴らせ。

皆で神に感謝しよう。

2拍子の黒人靈歌独特のリズミカルな歌です。

See That Baby in The Lowle Manger

馬槽の中に生れ給うたみどり子は、我等の罪を取り去つて下さるでしょう。いつの日にか、いつの日にか、黒人達の静かな敬虔な祈りはいつまでも、いつまでも続いてゆきます。

Mary Had a Baby

コーラスが質問をしソロがこれに答へます。

[Solo]

Mary Had a Baby, My Lord.

[Chorus]

Where Was She borne? My Lord.

[Solo]

Borne in a Manger, my Lord

[Chorus]

What Did She Name Him, My Lord.

[Solo]

She Named Him King Jesus, My Lord.

What You Gonna Call Yo'
Pretty Little Baby?

ベツレヘムで生れた貴女の可愛いいい小さな赤児を何と呼びますか。

Some Say One Thing, I'll Say Immanuel

Some Call Him One Thing, I'll Call Him

Jesus

White Christmas

次ぎ次ぎに作られては忘れ去られて行くポピュラーソングの域を脱し、今ではクリスマスには必ず聞かれる歌になりました。縁のクリスマスツリー、美しいデコレーション、外には真白く雪が積っています。暖い暖炉の側で、あなたの幸福を祈りながら、私はクリスマスカードを書いています。

Blue Christmas

はなやかなデコレーションにとりまかれながらも私の心は沈んでゆきます。あなたの居ないクリスマス…。虚ろな想いを胸に秘めて、私はさびしくこの歌を口ずさむのです。美しいバラードですが、あまり歌はれなくなっています。

We Three Vcings

救主の誕生を知った東方の三人の博士達は不思議な星に導かれながら、黄金、乳香、没薬を各々たづさへてキリストを拝しにベツレヘムまで、はるばる旅してきました。

O Holy Night

悩み、苦しみにそちた此の世に待ちに待つたキリストは生れ給うた、此の聖なる夜、空には輝く赤星、聞け御使いの歌声を！來たりひざまづき御子を拝せよ！フランスのクリスマスの歌、ハープの伴奏で普通テナーが歌います。

Jingle Bells

真白き雪をけたててそりは走る、野を越え行く、その楽しさ、鈴は響き、身もはれやか、さあ、楽しく歌おう、そりの歌を！

黒人靈歌
Jerico

イスラエルの民がエリコの城を攻める時、勇者ヨシユアは人々に命じて城外でラツバを七度吹かせ、大声をあげさせました。するとエリコの城壁はくずれ落ちたと云う旧約聖書の物語による歌で、ソロの間をぬつて歌はれるハミングは、その七度のラツバを表しています。

Ole Arks a-Moverin'

ノアの方舟が浮んでゆく有様をあらわしています。主旋律はドレミの三つの音だけですが、リズムで変化をつけてあります。

Cool Water

アメリカ西部の歌、年老いたダンと私はやけつぐ様な砂漠を冷たい、澄んだ水を求めてさまよい歩きます。ソロは彼等の心に浮ぶ冷たい澄んだ水を表はしています。

今西善次郎先生のこと

先生は西南女学院短大の教授で同じ西南でもあり、又西部合唱連盟の理事長をもされて居られる関係上、私達には非常につながりがあつてグリークラブやシャントワールにとつては最も親しみ深いオヤジ的な関係となつて居られます。

学生時代は同志社のグリークラブの指揮者で活躍され後実業に就かれその間オペラ等の団体に關係し、その後西南女学院に迎えられ、昭和25年より2年間程米国に留学され、今秋その主宰される八幡市民合唱団が西部合唱コンクールで優勝し、全国大会に出場される等非常に活躍されて居られます。

西南女学院短大と西南学院大学 グリークラブとの混声合唱について

数年前西部合唱コンクールで男声の部で西南学院グリークラブ、女声の部で西南女学院とそれぞれ優勝し。これを機会に混声合唱をやろうと話がまとまって、昭和21年クリスマスに現在東京に居られる石丸寛氏がアヴェヴェルムコルブスを演奏したのが第一回となり、26年に福永陽一郎氏（藤原オペラ合唱団指揮者）によつて企画されたが女学院としては全面的に参加出来ず、今西先生が代表として参加し後石丸、福永両氏の上京によつて一時社絶えたが此の度、吉井西南女学院長と河野院長及びギヤロツト氏等の話合いによつて此の12月14日に一回目の合同混声合唱を小倉にて行い、本日に至つたものであります。

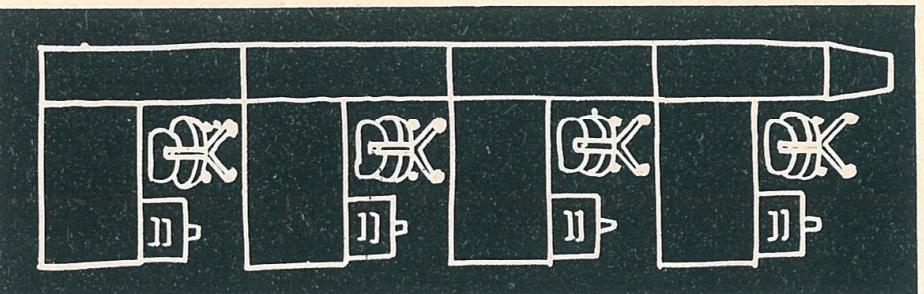
西南シヤントワールについて

大学四年間のグリークラブの生活は我々を益々男声合唱から離れ難くしてしまいました。又毎年毎年メンバーが変る学生の合唱団では満足すべき演奏は出来ない、それに福岡にはまだ一般の男声合唱団がない、ぜひ作らねばと一昨年の卒業生を中心として、西南の名のもとにシャントワール（歌い手）達が集いました。

私達は難解な曲を歌い、知的優越感にひたると云う様なことでなく、自分達の能力に応じた曲を立派に歌いたい（勿論同じ所にいつまでも立ち止つてすることは欲しません）と云う願いをいつも持つて居ります。

西南に学んだことのある人、学んでいる人、幼らいでいる人が集り歌い続けています。

OTOFUJI OTOFUJI OTOFUJI OTOFUJI OTOFUJI OTOFUJI O



株式会社 乙藤家具店
天神町イバ町・TEL④0802

西南シャントワール



I テナー

西 藤 島 越 永 木 水
乙 鶴 小 船 德 高 志
鶴 永 木 水

II テナー

的 永 坂 松 馬 野
永 濱 東 本 頭 辺
坂 松 馬 野

バリトン

持 中 岩 元 松 下 野
中 岩 元 松 下 野

バス

豊 望 小 鶴 多 西 中 鈴 山
田 月 川 鶴 多 西 中 鈴 山
佳 喜 比 良 村 木 口
憲 華 和 大 三 弘

久 勉 治 也 匡 俊 樹

子 二 助 広 司 德 郎 宏 史

—(今会出場者) —

1956年の歩み

- 1月 元旦 ラジオ九州より放送
- 2月 卒業生送別演会 タマヤホールにて
- 4月 青山学院グリーンハーモニー演奏会賛助
出演
- 6月 合唱祭出場 電気ホール
- 7月 西南短大チャペルに出演
- 8月 親睦ピクニック 長垂にて
- 9月 琴と男声合唱の夕、久留米石橋文化セ
ンターにて
- 11月 西南学院創立四十週年記念音楽会に出演
西南学院グリークラブと親睦ピクニック
日向神にて

其の外、R K B 定期放送演奏等、

福博唯一のシックな
階上喫茶出現!!



宝来屋



渡辺通一丁目電停前(南大通入口)

TEL② { 5378
7817 }



ラジオ九州